



『さあ、手を取り合って行動しよう！』

『世界を変える行動人』である私たちのミッションは、ビジョン声明にあるように、持続可能なよい変化を生むために行動することです。ビジョン声明の英文はTogether, we see a world where people unite and take action to create lasting change- across the globe, in our communities, and in ourselves.です。文頭に注目してみると、Together（一緒に）という単語で始まっています。日本語訳の中でTogetherは「わたしたち」「人々が手を取り合って」という文言で表現されているのかと思います。

では、「わたしたち」とはだれを指すのでしょうか。まずロータリアンです。それだけでしょうか？そこにはローターアクターを始め、ロータリーの奨学生や学友といったロータリーファミリーのみなさんの存在があります。地域社会の方々もいます。そして、ロータリアンの家族の方々もいます。「わたしたち」の幅が広がれば広がるほど、手を取り合って、共に行動する仲間が増えます。

以前、雑誌The Rotarian（現在の雑誌Rotary）で、食料が不足して困っているアメリカの田舎町で行われた奉仕活動の記事を読んだことがあります。週末になると、ロータリアンと地域の子供たちはバスで農園に出かけます。農家の人たちの協力を得て、種の撒き方や苗の育て方を習い、子供たちは農作業に取り組みます。週末に定期的に農園に通って、作業をし、農作物の成長の過程を見て学びます。収穫の時が来ると感謝して刈り取り、必要としている人々に届けます。最初は小さなプロジェクトでしたが、運搬の車を出す人、肥料を提供する人、土地を提供する人などが加わっていき、ついには市を上げての大プロジェクトとなり、この町では食糧難に苦しむ人がいなくなったという話でした。

私たちが現在行っている奉仕活動の中に、あるいはこれから取り組もうとしている奉仕活動に、地域の人々やロータリーファミリーを巻き込んで一緒に活動できるものがないでしょうか。ロータリーの活動に参加して、手を取り合って一緒に行動してみることが、ロータリーを知り、理解していただく何よりの機会になるように思います。おそらくこれがロータリーの公共イメージ向上への一番の近道と言えるかもしれません。その結果として、ロータリアンの仲間が増えていき、奉仕の扉は私たちの前にさらに大きく開かれるでしょう。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 服部 陽子（東京広尾RC）



会員増強 MISSION POSSIBLE

コロナ禍に乗じて、「THE ROTARY MOTIVATION」(A4判160頁)という標題のテキストを作りました(「ロータリーの友」4月号42頁参照)。会員増強や組織課題についても若干の模索を試みているので、それを基に以下の通りまとめさせていただきました。

●ネットネイティブ世代がやってくる

私たちの子どもや孫のような世代がロータリーを担っていく時代になる日もそう遠くないと感じるようになってきました。義理人情を絡めた会員増強策が、ネットネイティブな若年齢層や女性層に対して通用していきましょうか。今のロータリアンはブーマー世代が中心ではないかと思いますが、それに続くミレニアル世代(Y世代)やZ世代の思考や感性の違いを理解しないと、彼らを入会や在籍に結びつけられるのか疑問です。世代の空白をつくらないように、年齢バランスのとれたクラブ会員構成を保ち続けていくことが重要になると思います。若年齢会員の増強は世代交代につながります。

●日本の女性会員比率は世界最下位レベル

「THE ROTARY MOTIVATION」の特別編集として、新規に作成した「ロータリーと女性」という標題のテキスト(パワーポイント版10頁)を別添付します。女性会員増強に向けたセミナーや例会などで、どなたでも自由に使うことができます。

一部をご紹介しますと、S-05頁は、ロータリー存在国別の女性ロータリー会員比率を整理したデータです。日本のロータリー会員総数は世界で上位3番目であるのに対して、女性ロータリー会員比率は世界で下位3番目となっています。最下位の二国は国土も人口も僅かなので、日本は実質的に最下位と言っても良いような状態だということわかります。日本の女性ロータリー会員比率が約7%だという認識はあっても、世界の中でのポジションについては、あまり認識されていないかもしれません。

●MISSION POSSIBLE

会員増強は、クラブあるいは会員個人が、自身の問題として意識を定着化していくことが始まりだと思います。地域社会に向けた奉仕活動をしようという際でもポリオを根絶しようという際でも、問題意識がなかったら戦略も行動も何も起こらないでしょう。目先の会員維持対応も危機感に満ちた課題ですが、会員増強の手法自体を戦略的に位置づけていくことが不可欠だと思います。特に若年齢層や女性の増強を考えた時には、上述したようなデータを読み解いて、自分たちに可能な作戦(MISSION POSSIBLE)を計画していくこと、そこから先は熱いハートに切り替えて取り組むことが必要になると思います。そして常に、プロセスや結果を検証していくという蓄積も忘れてはならないと思います。

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則(長野RC)

THE ROTARY MOTIVATION

SPECIAL EDITION
ロータリーと女性

※発表用解説ノート付(スライドショー→発表者ビューをご確認下さい)

APRIL 2021

ロータリークラブ会員専用テキスト

オリジナル作成者：第2地域ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則



女性のポジション

■ ジェンダーギャップ指数 (Gender Gap Index: GGI) ランキング 2020=2019年12月発表

ランク	国名	指数	ランク	国名	指数	ランク	国名	指数	ランク	国名	指数	ランク	国名	指数
1	アイスランド	0.877	32	ブルンジ	0.745	63	スロバキア共和国	0.718	94	アゼルバイジャン	0.687	125	ギアナ	0.642
2	ノルウェー	0.842	33	リトアニア	0.745	64	イスラエル	0.718	95	ブルネイ	0.686	126	バヌアツ	0.638
3	フィンランド	0.832	34	オーストリア	0.744	65	ウガンダ	0.717	96	カメルーン	0.686	127	バブア・ニューギニア	0.635
4	スウェーデン	0.820	35	ポルトガル	0.744	66	ペルー	0.714	97	リベリア	0.685	128	ナイジェリア	0.635
5	ニカラグア	0.804	36	スロベニア	0.743	67	ベネズエラ	0.713	98	アルメニア	0.684	129	ブルキナ・ファソ	0.635
6	ニュージーランド	0.799	37	ウルグアイ	0.737	68	タンザニア	0.713	99	セネガル	0.684	130	トルコ	0.635
7	アイルランド	0.798	38	オランダ	0.736	69	ボスニアヘルツェゴビナ	0.712	100	パラグアイ	0.683	131	ブータン	0.635
8	スペイン	0.795	39	セルビア	0.736	70	北マケドニア	0.711	101	ネパール	0.680	132	アルジェリア	0.634
9	ルワンダ	0.791	40	ポーランド	0.736	71	モンテネグロ	0.710	102	スリランカ	0.680	133	バーレーン	0.629
10	ドイツ	0.787	41	ジャマイカ	0.735	72	カザフスタン	0.710	103	フィジー	0.678	134	エジプト	0.629
11	ラトビア	0.785	42	ポリビア	0.734	73	ボツワナ	0.709	104	マレーシア	0.677	135	カタール	0.629
12	ナミビア	0.784	43	ラオス	0.731	74	ジョージア	0.708	105	ハンガリー	0.677	136	ガンビア	0.628
13	コスタリカ	0.782	44	オーストラリア	0.731	75	タイ	0.708	106	中国	0.676	137	タジキスタン	0.626
14	デンマーク	0.782	45	ザンビア	0.731	76	イタリア	0.707	107	ガーナ	0.673	138	ヨルダン	0.623
15	フランス	0.781	46	パナマ	0.730	77	スリナム	0.707	108	大韓民国	0.672	139	マリ	0.621
16	フィリピン	0.781	47	ジンバブエ	0.730	78	チェコ共和国	0.706	109	ケニア	0.671	140	トーゴ	0.615
17	南アフリカ	0.780	48	エクアドル	0.729	79	モンゴル	0.706	110	ベリーズ	0.671	141	モーリタニア	0.614
18	スイス	0.779	49	ブルガリア	0.727	80	エルサルバドル	0.706	111	シエラレオネ	0.668	142	コートジボアール	0.606
19	カナダ	0.772	50	バングラデッシュ	0.726	81	ロシア	0.706	112	インド	0.668	143	モロッコ	0.605
20	アルバニア	0.769	51	ルクセンブルグ	0.725	82	エチオピア	0.705	113	グアテマラ	0.666	144	オマーン	0.602
21	イギリス	0.767	52	カーボベルデ	0.725	83	エスワティニ	0.703	114	ミャンマー	0.665	145	レバノン	0.599
22	コロンビア	0.758	53	アメリカ	0.724	84	ギリシア	0.701	115	モーリシャス	0.665	146	サウジアラビア	0.599
23	モルドバ	0.757	54	シンガポール	0.724	85	インドネシア	0.700	116	マラウイ	0.664	147	チャド	0.596
24	トリニダードトバゴ	0.756	55	ルーマニア	0.724	86	ドミニカ共和国	0.700	117	チモール	0.662	148	イラン	0.584
25	メキシコ	0.754	56	モザンビーク	0.723	87	ベトナム	0.700	118	アンゴラ	0.660	149	コンゴ	0.578
26	エストニア	0.751	57	チリ	0.723	88	レソト	0.695	119	ベナン	0.658	150	シリア	0.567
27	ベルギー	0.750	58	ホンデュラス	0.722	89	カンボジア	0.694	120	アラブ首長国連邦	0.655	151	パキスタン	0.564
28	バルバドス	0.749	59	ウクライナ	0.721	90	マルタ	0.693	121	日本	0.652	152	イラク	0.530
29	ベラルーシ	0.746	60	クロアチア	0.720	91	キプロス	0.692	122	クウェート	0.650	153	イエメン	0.494
30	アルゼンチン	0.746	61	バハマ	0.720	92	ブラジル	0.691	123	モルディブ	0.646			
31	キューバ	0.746	62	マダガスカル	0.719	93	キルギス共和国	0.689	124	チュニジア	0.644			

世界経済フォーラム(スイス)が発表している世界ジェンダーギャップレポート2020の総合ランキングを見ると、日本は男女格差指数0.652で、153カ国中の121位となっている。前回の110位から11ランク後退している。G7の中では最下位となっている。

ちなみに、

- 1位=アイスランド(11年連続)
- 2位=ノルウェー
- 3位=フィンランド
- 4位=スウェーデン
- 5位=ニカラグア

北欧は福祉充実のため税金が高く女性も働くことが多い

この指数算出の指標

- 「ジェンダー間の経済的参加度および機会」
- 「教育達成度」
- 「健康と生存」
- 「政治的エンパワーメント」

日本は、読み書き能力、初等教育(小学校)、出生率の分野では1位だが、中等教育(中学校・高校)、高等教育(大学・大学院)、労働所得、政治家・経営管理職、教授・専門職、国会議員数では男女格差が大きいとされている。

出典は世界経済フォーラムレポート

■女性の社会参加の歩み

年号	事柄
1901	日本・電話交換手がすべて女性になる 三井呉服店(三越)にて女性正社員3名
1919	日本・新婦人協会(平塚らいてう・市川房江等)
1920	アメリカ・女性参政権
1924	日本・女性車掌(バスガール)誕生
1925	日本・女工哀史
1929	日本・上野松坂屋にてエレベーターガール誕生
1933	日本・婦人弁護士制度
1945	日本・男女普通選挙権 →1946年衆議院女性議員数 39名/466名 →1947年参議院女性議員数 10名/250名
1947	日本・労働基準法
1960年代後半	世界・ウーマンリブ運動 ~1970年代後半
1972	日本・男女雇用機会均等法
1975	国際連合・国際婦人(女性)デー(毎年3月8日) 日本・女性国連公使に緒方貞子
1985	日本・女子差別撤廃条約批准
1989	ロータリー・女性の入会を認める 日本・新語流行語大賞:新語金賞=セクシャルハラスメント
1999	日本・男女共同参画社会基本法
2015	日本・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律=女性活躍推進法
2016	日本・働き方改革
2022	ロータリー・国際ロータリー初の女性会長

■男女共同参画社会

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」(男女共同参画基本法第2条)。

実現に向けた基本理念=5つの柱→

男女の人権の尊重

社会における制度又は慣行についての配慮

政策等の立案及び決定への共同参画

家庭生活における活動と他の活動の両立

国際的協調

※アンコンシャス・バイアス=無意識の思込み

働き方・暮らし方の根底に、長年にわたり人々の中に性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念が形成されている。女性・男性のいずれにも存在する。(第5次男女共同参画基本計画より) 男女共同参画社会は、法制度整備だけでは推進されず、一人ひとりの意識改革も必要となる。

■女性活躍推進法

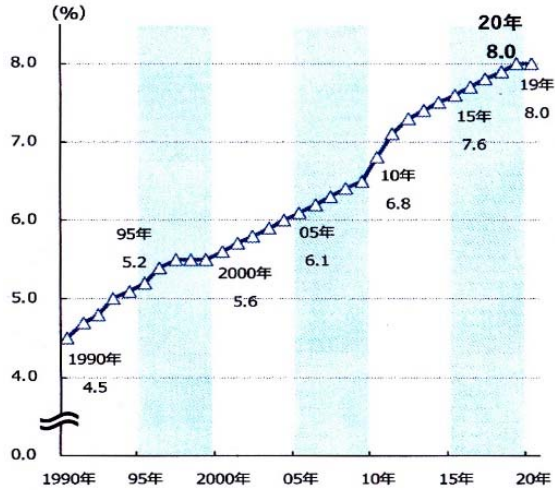
企業が雇用しているまたは雇用しようとする女性労働者に対する女性の活躍推進の取組について、以下のように規定している。

- ・301人以上(※常時雇用する労働者数)の企業→
自社の女性の活躍に関する状況を把握し、課題を分析すること
状況把握、課題分析を踏まえた行動計画を策定、社内周知、公表すること
都道府県労働局に届出すること
女性の活躍に関する情報を公表すること(年に一度データ更新)
- ・300人以下の企業→
上記の取組は努力義務となっている

出典は男女共同参画局・厚生労働省ホームページ

女性経営者の現状

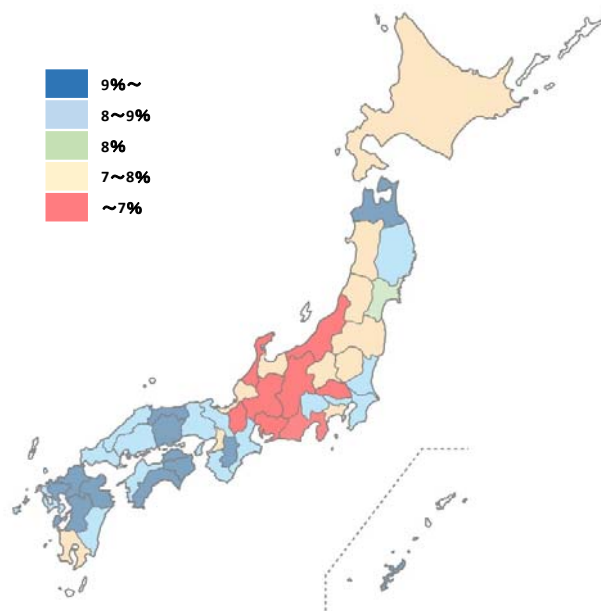
■ 女性社長比率の推移



女性社長比率は、1990年に4.5%だったものが、2020年に8.0%になっており、向上しているものの依然として低比率だと言える。
 その年齢分布をみると、70～74歳が最も多く、若年齢者が少ない。
 年商では5000万円以下が最も多い。
 業種では、不動産業が圧倒的に多く、サービス業、小売業が続く。建設業は少ない。

■ 県別女性社長比率

県名	比率	県名	比率
沖縄	11.3	広島	8.5
徳島	11.0	京都	8.2
青森	10.9	三重	8.2
佐賀	10.4	宮城	8.0
奈良	10.1	鹿児島	7.9
高知	9.9	栃木	7.8
福岡	9.5	大阪	7.8
香川	9.3	秋田	7.7
大分	9.3	神奈川	7.6
熊本	9.3	福井	7.5
岡山	9.1	山形	7.4
鳥取	9.0	群馬	7.4
岩手	8.9	北海道	7.3
山梨	8.8	富山	7.3
東京	8.7	福島	7.2
山口	8.7	埼玉	7.0
和歌山	8.6	新潟	6.6
兵庫	8.6	静岡	6.5
愛媛	8.6	石川	6.5
長崎	8.6	長野	6.2
宮崎	8.6	滋賀	6.2
茨城	8.5	愛知	6.1
千葉	8.5	岐阜	5.3
島根	8.5		



■ 業種別女性社長比率

業種細分類	比率
保育所	42.9
化粧品販売	35.1
美容業	34.1
老人福祉事業	32.1
各種学校	30.4
結婚相談・式場紹介	29.4
老人保健施設	27.9
身体障害者福祉事業	27.9
知的障害者福祉事業	27.3
個人教授所	26.2
婦人服等販売	25.8
バー・キャバレー等	24.7
翻訳業	24.6
貸家業	24.4
洋品雑貨等販売	24.1
劇団	24.1
貸衣装業	22.8
貸間業	21.6
貸事務所	21.6
土地賃貸	21.6

出典は帝国データバンク全国女性社長分析調査2020

■女性ロータリー会員の歩み

1950年	国際大会にて、インドのロータリークラブが、標準ロータリークラブ定款から「男性(male)」という言葉削除するという提案
1964年	規定審議会で、セイロン(=スリランカ)のロータリークラブから女性の入会の提案→否決。女性に名誉会員の資格を与えるという提案も否決
1977年	カリフォルニア州デュアルテRCは、定款に違反しながらも女性会員を入会させる。このため、1978年3月に国際ロータリーへの加盟を終結された(1986年9月に復帰加盟)
1983年	デュアルテRCが起こした訴訟で、カリフォルニア州最高裁判所は国際ロータリーを支持する判決
1986年	控訴裁判所は下級裁判所の判決を覆し、カリフォルニア州では男性のみを会員とする規定を施行できないとしたが、カリフォルニア州最高裁判所は米国連邦最高裁判所に控訴
1987年	米国連邦最高裁判所は、性別を理由に女性を会員として拒否することはできないという判決
1989年	カリフォルニア州マリンサンライズRCが、女性の設立会員を含めたクラブ(会長はデュアルテRCのシルビア・ウィットロック) 米国最高裁判所の判決後初めての規定審議会で、ロータリークラブの会員は男性に限られるとする国際ロータリー定款の要件削除を可決。 女性が世界中のロータリーで入会を認められる。日本でも初の女性会員(清水RC)が誕生
1990年	世界で女性会員が20000人をこえる
1995年	女性ガバナーが8人誕生
2017年	女性ガバナーが100人をこえる→S-06頁参照
2022年	初の女性国際ロータリー会長(ジェニファー・ジョーンズ:カナダ)予定

■女性ロータリー会員の推移(日本)

※濃色セル部はピーク年次を示す

	1985～ 1986	1986～ 1987	1987～ 1988	1988～ 1989	1989～ 1990	1990～ 1991	1991～ 1992	1992～ 1993	1993～ 1994	1994～ 1995	1995～ 1996	1996～ 1997	1997～ 1998	1998～ 1999	1999～ 2000	2000～ 2001	2001～ 2002	2002～ 2003
日本会員数	99524	102426	105716	109779	114556	119103	122800	125292	126576	127263	129909	129709	127512	123853	120863	116647	111992	106939
日本女性会員数	未加入	未加入	未加入	未加入	425	478	603	733	858	1085	1315	1473	1806	2014	2301	2521	2781	2902
	2003～ 2004	2004～ 2005	2005～ 2006	2006～ 2007	2007～ 2008	2008～ 2009	2009～ 2010	2010～ 2011	2011～ 2012	2012～ 2013	2013～ 2014	2014～ 2015	2015～ 2016	2016～ 2017	2017～ 2018	2018～ 2019	2019～ 2020	2020～ 2021
日本会員数	103620	100710	99175	97330	95238	91906	89693	88214	87110	86730	87010	87432	87615	87936	88065	87807	85510	
日本女性会員	3072	3270	3501	3654	3787	3846	3989	4070	4231	4464	4694	5043	5296	5584	5817	6017	5961	

出典はRIホームページ・「ロータリーの友」

■ 女性ロータリー会員比率(世界・国別)

	国名	会員数	クラブ数	女性比率	男性比率
1	キリバス(太平洋)	9	1	88.89	11.11
2	ナウル(太平洋)	5	1	80.00	0.00
3	アンギラ(カリブ海)	25	1	68.00	32.00
4	タークス・カイコス諸島(カリブ海)	49	2	63.27	36.73
5	シント・マールテン(カリブ海)	107	4	57.94	42.06
6	アメリカ領サモア	38	1	57.89	42.11
7	ジブラルタル	33	1	57.58	42.42
8	カザフスタン	60	4	56.67	41.67
9	ミャンマー	386	7	56.74	42.75
10	ドミニカ	71	2	56.34	43.66
11	モンゴル	352	18	55.68	44.32
12	モントセラト(カリブ海)	22	1	54.55	45.45
13	パラウ	17	1	52.94	47.06
14	レソト(アフリカ)	53	2	52.83	47.17
15	ケニヤ	2,879	104	52.24	47.24
16	アメリカ領バージニア諸島(カリブ海)	274	11	52.19	47.08
17	ニカラグア	253	16	52.17	47.83
18	ミクロネシア	25	2	52.00	48.00
19	ギニアビサウ(アフリカ)	18	1	50.00	50.00
20	リベリア	96	3	50.00	50.00
21	エジプト	2,982	120	49.73	49.93
22	インドネシア	2,311	115	49.50	50.32
23	チュニジア	807	46	48.45	51.18
24	ジンバブエ(アフリカ)	464	26	49.35	50.00
25	イギリス領バージン諸島(カリブ海)	195	4	47.69	51.28

	国名	会員数	クラブ数	女性比率	男性比率
26	セントビンセント・グレナディーン諸島	51	2	47.06	52.94
27	プエルトリコ	919	31	47.01	52.77
28	ベネズエラ	2,198	95	46.63	52.87
29	セントルシア	101	2	46.53	53.47
30	コロンビア	2,328	142	45.79	53.99
31	ジャマイカ	621	26	45.09	54.75
32	ベリーズ(中央アメリカ)	216	10	44.91	55.09
33	パハマ	641	15	44.62	55.07
34	シエラレオネ	108	3	44.44	55.56
35	クック諸島(太平洋)	9	1	44.44	55.56
36	ノーフォーク島(太平洋)	9	1	44.44	55.56
37	ガイアナ(南アメリカ)	267	7	44.19	55.81
38	タイ	7,840	334	43.94	55.92
39	ジョージア	41	4	43.90	56.10
40	アンティグア・バーブーダ(カリブ海)	99	2	43.43	56.57
41	ベラルーシ	33	4	42.42	57.58
42	バヌアツ	45	2	42.22	57.78
43	ウガンダ	4,540	138	42.09	57.71
44	トンガ	12	1	41.67	58.33
45	コスタリカ	197	13	41.12	58.88
46	タンザニア共和国	785	49	40.89	58.73
47	ボツワナ(アフリカ)	64	3	40.63	59.38
48	ロシア	1,029	77	40.62	59.28
49	キルギスタン	20	1	40.00	60.00
50	ペルー	3156	171	39.96	59.85

※男女比率合計が100%にならないケースもある

	国名	会員数	クラブ数	女性比率	男性比率
	中略				
86	アメリカ	290,595	7483	32.79	67.00
103	オーストラリア	25464	1938	29.60	70.26
154	大韓民国	65346	1675	22.58	76.46
	中略				
-15	チェコ共和国	851	46	14.34	85.55
-14	サンマリノ	42	1	14.29	85.71
-13	インド	159,430	4,143	14.13	85.69
-12	アンドラ	51	1	13.73	86.27
-11	ドイツ	56,922	1,103	13.33	86.66
-10	コンゴ民主共和国	474	37	13.29	85.44
-9	リヒテンシュタイン	113	2	13.27	86.73
-8	スイス	13,143	220	13.09	86.91
-7	ルクセンブルグ	825	14	12.97	87.03
-6	オーストリア	8,361	160	12.56	87.44
-5	ベルギー	9,608	271	11.65	88.35
-4	モリタニア	22	2	9.09	90.91
-3	日本	86,305	2,237	7.08	92.69
-2	マン島	139	4	3.60	96.40
-1	モナコ	62	1	0.00	100.00
	合計	1,194,220	36,381	24.09	75.69

2021年3月15日RIデータ

モナコ(世界で二番目に小さい)・マン島(イギリス王室領)の国情詳細などは不明だが、日本の女性会員比率は世界最下位クラスと言える。この事実に対する日本の認識は低い。

出典はRIホームページ

■ 女性ガバナー数(世界・国別) 2017-2018年度データを分析

国名	ガバナー数(地区数)	内・女性ガバナー数	国名	ガバナー数(地区数)	内・女性ガバナー数	国名	ガバナー数(地区数)	内・女性ガバナー数
アメリカ	146	51	スペイン	3	0	ルーマニア	1	0
ブラジル	38	7	トルコ	3	0	エジプト	1	0
インド	37	1	ウェールズ	2	2	ブルガリア	1	0
日本	34	1	ギリシア	2	1	セルビア	1	0
オーストラリア	21	1	パキスタン	2	1	イスラエル	1	0
イギリス	19	4	ペルー	2	1	スリランカ	1	0
大韓民国	19	0	オーストリア	2	0	ネパール	1	0
フランス	18	4	ポルトガル	2	0	香港	1	0
ドイツ	15	2	バングラデッシュ	2	0	ドミニカ共和国	1	0
カナダ	14	3	マレーシア	2	0	コスタリカ	1	0
イタリア	12	2	インドネシア	2	0	グアテマラ	1	0
台湾	12	0	コロンビア	2	0	エクアドル	1	0
スウェーデン	10	4	ベネズエラ	2	0	ボリビア	1	0
フィリピン	10	2	ウルグアイ	2	0	パラグアイ	1	0
オランダ	7	2	キプロス	1	1	プエルトリコ	1	0
アルゼンチン	7	1	バERMューダ	1	1	ハイチ	1	0
メキシコ	7	0	フィジー	1	1	スリナム	1	0
ノルウェイ	6	2	北アイルランド	1	0	モロッコ	1	0
フィンランド	6	1	アイスランド	1	0	マリ	1	0
ニュージーランド	5	2	リトアニア	1	0	ニジェール	1	0
デンマーク	5	1	ハンガリー	1	0	ブルンジ	1	0
タイ	4	2	スロベニア	1	0	ザンビア	1	0
ナイジェリア	4	0	クロアチア	1	0	ウガンダ	1	0
スイス	3	1	マルタ	1	0	ケニア	1	0
チリ	3	1	ロシア	1	0	モーリシャス	1	0
南アフリカ	3	1	ポーランド	1	0	合計	540	104
スコットランド	3	0	ベラルーシ	1	0			
ベルギー	3	0	スロバキア	1	0			

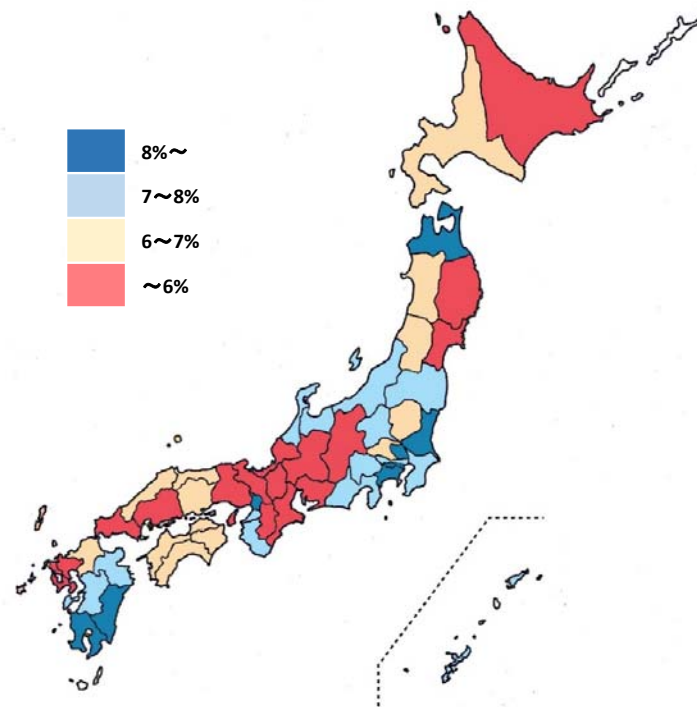
2017-2018年度に、初めて女性ガバナーが100人を超えた

出典は2017国際協議会PARTICIPANTS

■ 女性ロータリー会員比率(日本・地区別)

地区	クラブ数	会員数	女性比率	男性比率
2750 東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ	97	4,609	11.76	88.13
2780 神奈川	67	2,313	11.63	88.33
2730 宮崎・鹿児島	68	2,392	9.57	90.05
2590 神奈川(横浜・川崎)	55	1,965	9.52	90.23
2830 青森	40	1,131	9.46	90.36
2660 大阪北部	80	3,596	8.43	91.49
2820 茨城	55	1,908	8.23	91.56
2770 埼玉南東	74	2,422	8.22	91.66
2790 千葉	82	2,743	7.87	91.98
2720 熊本・大分	75	2,413	7.71	92.04
2580 東京・沖縄	70	2,922	7.56	92.27
2620 静岡・山梨	77	2,898	7.42	92.44
2530 福島	63	2,282	7.41	91.94
2560 新潟	56	2,091	7.41	92.01
2640 大阪南部・和歌山	67	1,712	7.36	92.52
2610 石川・富山	64	2,578	7.33	92.36
2840 群馬	45	2,106	7.31	92.40
2510 北海道西部	70	2,513	6.84	92.80
2690 鳥取・島根・岡山	65	2,993	6.45	93.45
2670 愛媛・香川・徳島・高知	74	2,961	6.42	93.35
2570 埼玉西北	50	1,594	6.40	93.41
2550 栃木	48	1,714	6.36	93.35
2800 山形	49	1,555	6.30	93.12
2700 福岡・対馬・壱岐・島根	61	3,145	6.26	93.64
2540 秋田	42	1,152	6.16	92.97
2520 岩手・宮城	77	2,210	5.97	93.53
2650 福井・滋賀・京都・奈良	96	4,467	5.69	94.11
2760 愛知	84	4,792	5.63	94.30
2630 岐阜・三重	74	3,122	5.61	94.17
2710 広島・山口	73	3,236	5.50	94.22
2600 長野	54	1,961	5.41	94.39
2500 北海道東部	67	2,245	4.63	95.10
2680 兵庫	71	2,671	4.61	95.25
2740 佐賀・長崎	56	2,162	4.44	95.42
合計	2,246	86,674	7.08	92.69

2021年3月15日Riデータ



男女共学や女性参政権が実現されて長い時が経過してきた。いま男女共同参画社会が目指すところは、結婚や出産といったライフイベントを抱えた女性たちが男性たちと同等に働くことのできる環境を整えていこうとするステップだと理解することができる。そのことは大きな前進だと思われるが、女性たちが、男性たちと同じように働く→リーダーになる→さらなるネットワークや人道的奉仕活動に向けて意識を展開させていくことができれば、日本の女性たちのロータリーへの参加のハードルも少し低くなるのかもしれない。女性会員比率をあげることも懸案であるが、入会した後に男女の区別ないロータリアンとして活動していけるように全ロータリー会員が配慮することから、次なる女性会員増強に連鎖していくのではないかと

女性会員増強 MISSION POSSIBLE

戦略

1 データで誘う

地域密着の女性経営者はどこに・・・
次期女性経営者を見つける
女性リーダーを探そう
至近距離にいる女性仲間

2 ハートで誘う

義理人情は通用しない
ロータリーのために誘うのか
先方の人生充実のために勧める・・・
女性の人間関係を活かす
女性の口コミや人物評が有効
女性会員増強は楽しいこと

戦術例

奉仕活動の見える化
ロータリー広報セミナーの開催
夫婦でロータリー！
家族(父+娘や孫)でロータリー！
二人(複数)で入会キャンペーン

このテキストは現実を“学ぶ”ための教材でもありますが
それと同時に
未来に向かって“考える”+“行動する”ための資料でもあります
それゆえに、THE ROTARY MOTIVATION なのです

—やる—
いつ行動するの? … 今でしょ!!!
—やる—
だれが行動するの? … “自分”でしょ!!!
結果に COMMIT しよう～～



オリジナル作成者: 第2地域ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則

2600地区研修リーダー/パストガバナー E-MAIL:kuniseki@avis.ne.jp